

図2 罰行使者タイプごとの利他的行動の頻度

2の横軸は4つの経済ゲーム（囚人のジレンマゲーム、独裁者ゲーム、公共財ゲーム、信頼ゲーム）を通して参加者が示した利他的行動の傾向、縦軸は参加者の人数を表している。参加者は三者罰ゲームのみで罰を行使した人（水色エリア）、三者罰ゲームと最後通告ゲームの両方で罰を行使した人（深い青のエリア）、最後通告ゲームのみで罰を行使した人（赤いエリア）、いずれのゲームでも罰を行使しなかった人（黄色エリア）にタイプ分けされている。図に示されている数字、および縦線はタイプごとの利他的行動の平均レベルを表している。最後通告ゲームのみで罰を行使した人（赤いエリア）と三者罰ゲームで罰を行使した人（水色のエリアと深い青のエリアの合計）では、利他的行動の平均レベルが異なることが見て取れます。

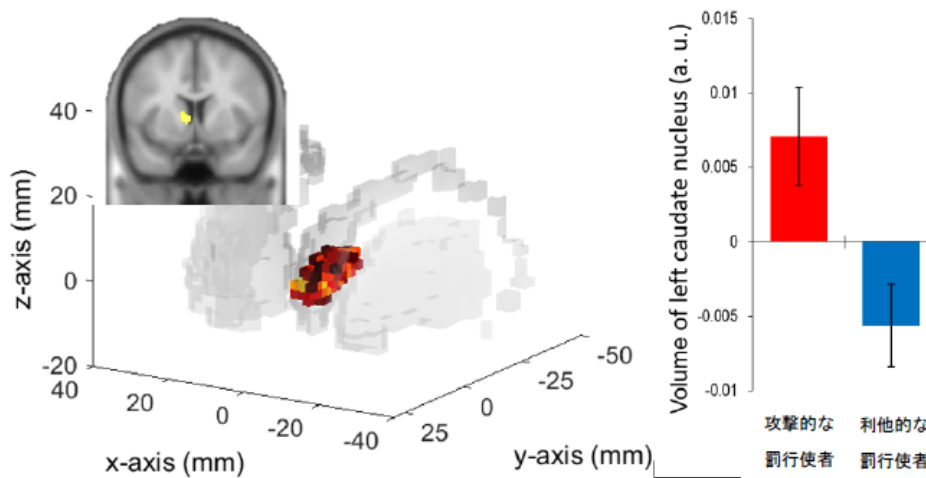


図3 罰行使者タイプごとの左尾状核の体積

図3の左は利他的な罰行使者と攻撃的な罰行使者との間で差が見られた左尾状核の場所を示しています。図3の右は罰行使者タイプごとの左尾状核の体積の平均値を示しています。